

関係各位

2025年7月9日
一般社団法人宇宙産業連携機構

福島スペースカンファレンス 開催のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。昨年来、多くの企業に福島沿岸に進出をいただき、3度にわたるロケットの打ち上げ実証を実現できました。ここまでの道のりにご支援を賜りました皆さま、改めまして厚く御礼申し上げます。

さて、福島スペースカンファレンス実行委員会は、本年も東北最大級の宇宙ビジネスカンファレンス『福島スペースカンファレンス2025』を、来る2025年8月8日に開催する運びとなりました。

3回目の開催となる今年は、国と県により策定された新たな復興の青写真を踏まえ、「実証の聖地」の実現を通じていかに日本の宇宙産業を加速させるか、さらに踏み込んだ議論を行います。また、新たに接点を持っていただいた皆さまにとっても、宇宙への入口となるようセッションをご用意しております。

セクターを越えた連携を通じて、宇宙産業における研究開発から実証、量産化、そしてルール形成に至るまで、宇宙産業が育まれるエコシステムをこの地からつくりあげていくことを目指します。ご多忙中とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご参加賜りますようお願い申し上げます。

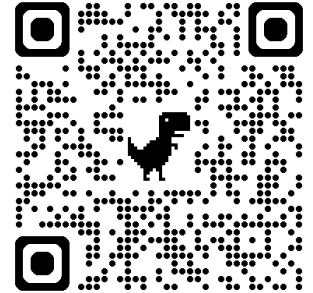
敬具

【福島沿岸の現在地とポテンシャル】

- **「実証の聖地」へ**：本年6月に経産省、復興庁、福島県により取りまとめられた「復興の青写真」を紐解き、福島沿岸における宇宙の位置づけをわかりやすく整理します。
- **官民の投資が加速**：内閣府が公開した「スキル標準」を踏まえながら、AIやサイバーセキュリティ、GX領域を参考に、人材育成のあり方を議論します。
- **宇宙ベンチャーの集積**：浜通り地域には試験施設や工場、インキュベーション施設の整備が進んでいます。福島で活躍する各社が勢揃いします。
- **宇宙を巡るルールづくり**：衛星データ活用によるアナログ規制改革や宇宙活動法改正にともなう各論点など、実証が集積する地域ならではの視点から議論を深めます。

■開催概要■

- **日時：**2025年8月8日（金） 12:30 開始
- **会場：**
 - **会場A：**浮舟文化会館（福島県南相馬市小高区本町2-89-1）
 - **会場B：**小高パイオニアヴィレッジ（福島県南相馬市小高区本町1-87）
 - **会場C：**レインシアター（福島県南相馬市小高区東町1-10）
- **参加申込：**
 - **Peatix:** <https://fukushimaspaceconference2025.peatix.com/>
- **主催：**一般社団法人宇宙産業連携機構



■プログラム（案）■

【会場A：浮舟文化会館】

- **12:40-13:40 セッション1：宇宙産業において人材をどう育てるか**

宇宙スキル標準の活用と、福島における高等教育機関の新設やリスキリングのあり方について、JAXA、大学、地元企業、行政が連携の方向性を探ります。

（主な登壇者）JAXA、AstroX、将来宇宙輸送システム、福島県、F-REI、東北大学ほか
- **13:50-14:40 セッション2：「実証の聖地」をいかに実現するのか～日本の宇宙を加速するエンジンとしての福島～**

日本の宇宙産業が抱える「打ち上げ能力の不足」と「実証インフラの欠如」という構造的課題に対し、「実証の聖地」福島が果たすべき役割と貢献について議論します。

（主な登壇者）文部科学省、福島県、南相馬市ほか
- **15:00-15:50 セッション3：福島沿岸地域と東京 産業はいかに立ち上がり、量産化するのか？**

宇宙ベンチャーが集積する「司令塔」東京と、実証・製造を担う「聖地」福島。両者がいかに連携し、実証から量産化への「死の谷」を越えるか、その方策を探ります。

（主な登壇者）将来宇宙輸送システム、福島県、東京都、三菱倉庫 ほか
- **16:10-17:00 セッション4：イノベ地域の国際化～研究開発から実証、産業化まで～**

福島が世界の研究者や企業を惹きつける国際研究開発拠点となるための課題と戦略を、欧州の事例も交えて議論します。

（主な登壇者）F-REI、ASTRO GATE、東北大学、防衛省ほか
- **17:20-18:10 セッション5：宇宙に関するルールづくり～実証から制度、社会の前進へ～**

再使用ロケットなど新技術に対応したルール作りが急務となる中、福島での実証が国のルール形成にどう貢献できるか、官民が連携する「福島モデル」の可能性を探ります。

（主な登壇者）LAND INSIGHT、SPACE WALKER、AstroX、マカイラほか

【会場B：小高パイオニアヴィレッジ】

- **13:50-14:40 セッション2：学生/有望スタートアップのピッチ**

国内外で新たな宇宙の課題に挑戦する学生たちを招待し、最前線を紹介します。

（主な登壇者）Spurcl、東北大学ほか

- **15:00-15:50 セッション3：宇宙産業と地方創生のこれからを考える**

ロケットの打ち上げや教育プログラム、研修等を通じて多くの方が福島の沿岸を訪れました。国内における先進事例を踏まえながら議論を深めます。

（主な登壇者）Archetype Ventures、福島イノベーション・コースト構想推進機構、南相馬市ほか

- **16:10-17:00 セッション4：福島沿岸地域の宇宙開発 新たな産業を受け入れるということ**

新たな産業を受け入れる自治体ならではの工夫や苦勞。スピード命のスタートアップと実証を展開する自治体の裏側を語ります。

（主な登壇者）南相馬市、角田市、福島沿岸の自治体、福島相双復興推進機構ほか

- **17:20-18:10 セッション5：これから福島沿岸で起きること ～進出企業の事業展開を知ろう！～**

福島沿岸に進出している宇宙関連企業各社の取り組みをご紹介します。ワンストップで進出各社と交流できる機会です。

（主な登壇者）EY新日本有限責任監査法人、福島県、将来宇宙輸送システム、SPACE WALKER、AstroX、Elavation Space、OKUMA TECH、三菱倉庫ほか

【会場C：レインシアター】

- **13:50-14:40 セッション2：宇宙と地上から農業を変える**

衛星データを活用した農業領域の新たなチャレンジと、今後の可能性を探るセッションです。

（主な登壇者）株式会社日本総合研究所、舞台ファーム、LAND INSIGHT株式会社、サグリ株式会社、OKUMA TECH株式会社ほか

- **15:00-15:50 セッション3：地域住民から見た宇宙産業**

再使用ロケットなど新技術に対応したルール作りが急務となる中、福島での実証が国のルール形成にどう貢献できるか、官民が連携する「福島モデル」の可能性を探ります。

（主な登壇者）南相馬市産業創造センター、写真家、農家、原発震災を語り継ぐ会ほか

- **16:10-17:00 セッション4：移住先としての福島沿岸地域**

（主な登壇者）南相馬市 復興企画部 デジタル推進課（インクルーシブ株式会社から出向）、南相馬市 商工観光部 商工労政課 宇宙関連産業推進室（三菱倉庫から出向）、ぷくぷく醸造、南相馬市（UDSから出向）、Septeni Ad Creative、OWB株式会社、一般社団法人SOMA

■懇親会■

【会場：おだか交流センター】

● 18:30-20:30

福島沿岸の食材を主役に据えて、人気店や高級ホテルで活躍するシェフが腕をふるいます。昨年100人以上が参加した人気の懇親会です。

プロデューサー

菊池一弘

岩手県金石市出身。企画を立てて人を集めたり、どう世の中に面白い事を広められるか??を追求。3000人の羊愛消費者団体の羊齋協会主席。麻辣味を日本に根付かせた麻辣連盟幹事長など、多くの消費者団体、イベント企画にかかわる。イベント動員は100万人を超える。オーストラリアラム肉PR大使、味付ジンギスカンGP実行委員長、2つのメディアの参与とプロデューサーなどを務める。著書に東京ラムストーリー（実業之日本社）/家庭で作るおいしい羊肉料理（講談社）/世界の羊肉レシピ（グラフィック社）がある。

シェフ

桑折 敦子

福島県南相馬市生まれ。飲食店や医療機関の勤務などを経て、2004年に「スープストックトーキョー」を展開するスマイルズに入社。スープストックトーキョーの商品開発を中心に、スマイルズが手掛ける飲食業態全般の商品開発に携わる。2017年に独立し、フードプランナーとして活躍の幅を広げている。

福田 浩二

高校卒業後「ヒルトン大阪」のフランス料理部門に入り、修行を積む。その後ニュージーランド、オーストラリアへと渡り「Salt by Luke Mangan」のオーナーシェフであるルーク・マンガン氏に出逢う。氏と一緒に世界を飛び回り、世界のエグゼクティブを相手に、料理を担当することで感性と技術を磨く。2011年よりSalt by Luke Manganのエグゼクティブシェフに就任。その後、様々なレストランの統括シェフを経て、東京・田町のプレミアムホテル「プルマン東京」のエグゼクティブシェフに就任。

菊池 佑太

福島市出身。羊肉に出会い魅了される。ジンギスカンの肉の産地がはっきりと謳われないことに疑問を抱き、地元福島の羊牧場を探し回り、羊飼いたちと会う。地元の羊を活かし2016年に福島市でジンギスカン誠をオープン。その後、郡山市にジンギスカン誠郡山店、東京都品川に元プロ野球選手高橋慶彦氏とタッグを組みジンギスカンYOSHIHIKOを展開。2024年には赤坂ヒツジ乃キを開店、きさまざまな牧場から国産羊を一頭買いするスタイルで提供している。

■参加お申し込み■

下記ウェブサイト（Peatix）よりお申し込みください。

<https://fukushimaspaceconference2025.peatix.com/>

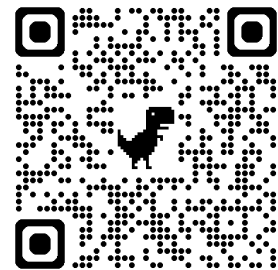
お電話、FAX、メールでも受け付けております。

下記内容をご記入の上、事務局までお送りください。

（所属 / 肩書き / お名前）

Mail : info@aica.or.jp

FAX : 050-1722-3091



【本件に関するお問い合わせ先】

一般社団法人宇宙産業連携機構

担当：但野、松下

TEL : 080-5573-7527（但野） / 080-6118-4886（松下）

Mail : info@aica.or.jp